

# 三春の丘まちづくり協議会 令和2年度以降の活動計画

## 1 活動方針

地震火災対策方針における目標年次である令和4年度を一定の期間として見据え、これまで行ってきた活動やその成果の振り返りをもとにしながら、今後優先して取り組むべき活動について抽出し、中期的な活動計画の検討も行いながら、防災まちづくり計画の実現に向けて積極的に活動を行っていく。

## 2 活動内容

### (1) 防災まちづくり計画の実践（平成22年度～）

- ・ 防災まちづくり計画の周知
- ・ 地域防災拠点への防災設備設置に向けた取り組み
- ・ 公共用地や民間用地を活用した防災広場整備に向けた取り組み
- ・ 防災上の観点や住みやすさの観点からのまちづくりの実践
- ・ 協議会活動を行っている地域との交流による防災力の向上
- ・ 防災に関する見学会の開催
- ・ 中期的な活動計画の検討

### (2) 広報・広聴活動（平成20年度～）

- ・ 三春の丘まちづくりニュースの発行
- ・ 防災に関する地域住民との意見交換
- ・ 延焼シミュレーション等を活用した意識啓発
- ・ 防災イベントの実施
- ・ 他のイベント等と連携した広報活動

### (3) まちづくり協議会の運営（平成20年度～）

- ・ 総会の開催（年1回開催）  
防災力・防犯力を高めるための講演の企画
- ・ 会の開催（役員会の開催）（毎月1回）
- ・ 会の運営に関する町内会等との調整（通年）

## 活動実績書

### ・ 平成 22 年度

平成 22 年 3 月の防災まちづくり計画の地域まちづくりプラン認定を受け、地域内に指定するいっとき避難場所の選定や指定に向けた権利者との調整を行った。また、防災まちづくりニュースを発行し、認定を受けたプランを地域に周知するとともに、防災への意識啓発を目標に防災イベントの企画検討を行った。

### ・ 平成 23 年度

防災まちづくり計画の地域まちづくりプランに基づき、事業費助成の制度を活用し、歩きにくい道の整備を実施した。また、地区内にいっとき避難場所を 2 箇所設置し、災害時の一時的な避難場所の確保を行った。

防災への意識啓発を目標とした防災イベントを実施した。

### ・ 平成 24 年度

防災まちづくり計画で、消防水利が不足しているエリアにある、太田小学校東側の路線について、プールの水を消防水利に活用する消防車等の緊急車両が通り抜けできるよう狭あい道路の拡幅整備を実施した。

また、事業費助成制度を活用し、三春台公園にかまどベンチの設置を行うと共に、かまどベンチの実演を兼ねた防災イベント開催した。

### ・ 平成 25 年度

緊急車両の通り抜けが困難な路線である三春台公北側の路線において、地区内で二度目となる狭あい道路の拡幅整備工事を実施した。

また、2 度目のアンケート調査を実施し、これまでの協議会活動に対する意見のまとめも実施した。

防災マップをベースとして、日常的に避難経路等の確認に利用できる防災マップワークシートを作成した。

### ・ 平成 26 年度

太田小学校横の狭あい道路路線について、狭あい道路の拡幅整備を実施した。また、事業費助成制度を活用し、地区内に指定されている「いっとき避難場所」にかまどベンチの設置を行った。

平成 25 年度に作成した防災マップワークシートを地域内に配布し、地域住民に避難経路等の確認を促し、防災の意識啓発を行った。また、東京の新防火規制地域の状況を調査するとともに、東京臨海広域防災公園の防災施設見学を行った。

### ・ 平成 27 年度

数年かけて検討を行ってきた防災倉庫の設置について、横浜市の身近なまちの防災施設整備事業補助を利用し、三春台第 2 公園内に整備を行った。また、これまでの 10 年にわたる活動を振り返り、活動年表及び整備実績マップを作成し地区内に配布をして、これまでの防災まちづくり活動の成果を周知した。

### ・ 平成 28 年度

防災倉庫に防災関連備品を備えつけるとともに、それらを実際に利用しながら、かまどベンチを活用した炊き出し訓練を実施した。また、地域住民を募り、横浜市民防災センターへの施設見学を企画し、防災の意識啓発に努めた。

災害時に地域で不足すると考えられる水の確保に向けて、井戸の整備等についての検討を開始した。

・ 平成 29 年度

ソフト面では、三春台第二公園内に設置された防災倉庫のお披露目とかまどベンチを使った炊き出し訓練を実施した。また、リニューアルオープンした横浜市市民防災センターの見学会を実施し、地震災害・豪雨災害・火災に対する認識を改めて知ることができた。

さらに、三春台町内会と三春台東町内会に対して、三春の丘まちづくり協議会の取り組みについて周知を行った。

ハード面では、三春台町内会の住民から出ていた急傾斜地の治水工事が完了し、豪雨や地震災害に耐得る急傾斜地に隣接した地域の安全で住みよいまちづくりに貢献した。

・ 平成 30 年度

ソフト面については、太田小学校で開催された定期総会に於いて、横浜市総務局の協力で震度5規模の地震が発生した時に、電気の通電火災を防ぐことを目的に基調講演を行った。また、大規模マンションに設置されているかまどベンチを活用した炊き出し訓練を実施した。ハード面では、横浜市の補助金を活用した初期消火器具(スタンドパイプ)三春台東町内会に設置し、南消防署のご指導により初期消火の訓練を実施。さらに、大規模マンションの管理組合で全戸に感震ブレーカーが設置され、防災意識の向上に繋げることができた。

・ 平成 31 年度 (令和元年度)

ソフト面では、太田小学校で開催された定期総会に於いて、西日本を襲った豪雨災害について現地で復旧活動に従事された南消防署の職員から日頃の備えや、万一私達の地域が被災した場合の心構えについて体験談を基にお話しをきくことが出来た。また、日頃から交流のある本郷町の協議会に出向き、新しく出来た防災公園やコミュニティハウスの見学会を行った。尚、自然災害の猛威がつづき街歩き等の活動が中止になるなど災害が三春台地域にも傷跡を残した一年であった。

ハード面は、三春の丘まちづくり協議会の活動資金の関係からハード整備に向けた取り組みは難しい状況にあるため、ハード面の整備は行うことが出来ていない。なお、三春台地域にある公園の整備に向けた意見提言や公用地・私有地の購入等についても横浜市に要望を行った。